

KANAGAWA ARTS PRESS

September, 2009

神奈川県総合文化芸術情報誌

神奈川県総合文化芸術情報誌
神奈川芸術PRESS90号(通巻94号) 2009年9月15日発行(寄数月15日発行)
発行/神奈川県 編集/(財)神奈川芸術文化財団 ●禁無断転載・複写●

Creator's Voice 109 ダンサー

首藤 康之



芸術活動支援のページ 03&06

神奈川県内・公立施設 催し物情報 04&05

特集 県立音楽堂 秋のラインナップ 07

写真:幸田 森

会場を訪れる観客ひとりひとりが出演者。ギャラリーという空間の中に身を置いて、ともにダンスを感じてもらえたら。

ダンサー

首藤康之

美術作家とのコラボレーションという初の試みに挑む首藤康之さん。壮大な現代美術の展示と、生身の肉体の出会いから生み出されるものとは、果たして…。この新たな挑戦にける意気込みと、想いのたけを聞いてみました。



オランダを拠点に活躍する美術作家・佐藤恵子さんのコラボレーションに挑戦する最新作。彼女の作品を初めて見たときの印象はいかがでしたか？

すてきだなと思いました。一見すると破壊的なイメージがあるんだけど、不思議と吸い込まれてしまう。何故かという、繊細なんですよ。割れた破片のひとつひとつが人生を持っていて、また別の世界があるような。壊れてはいるけれど、まるで生きているかのような…。それに、作品自体が止まっているように見えなかった。もちろん止まってはいるのだけれど、動いている、ある意味「ダンス」を感じたんです。彼女の作品がダンスそのものに見えたと、感じられた。それで、「この中に身を置いて何か表現してみたい」と思ったんです。

ロンドンで実際に佐藤さんとお会いしたとか。

作品を見た限りでは、どんな女性なのかちょっと想像がつかなかったんですよ(笑)。でも実際にお会いしたら、とても大らかな方で。その反面、繊細な感覚もしっかり持っている。本当に素敵な女性でした。

ジャンルは違っても、アーティストとして通じるものがあつた？

そうですね。彼女自身、自分の作品の中でダンスが踊られるのは初めてということで、例えば「こういう格好で踊ったらどう？」といった感じで積極的に提案もしてくれる。ただ美術をポンと置いてそこで踊るのではなく、一緒に作っていきけるのではという期待感が持てました。

振付は中村恩恵さんが手がけるそうですね。

佐藤さんの作品に触れ、では振り付けは誰がいいかなど考えたときに、中村さんが直感で浮かんできたんです。ダンサーとしての彼女の存在は昔から知っていましたが、公演も観せていただいていた。とても



スピリチュアルな魅力を感じていたので、いつか共演してみたいなと思っていて。あと構成としては、女性1人と男性2人のトリオがいいなと考え、元Noism(ノイズム)の青木尚哉さんに出演をお願いしました。

作品創作はどのように行う予定ですか？

中村さんが基盤となる骨組みを作り、後はみんなで仕上げていく感じですね。中村さんはもちろん魅力的なダンサーだし、青木さんはとても優れた身体能力を持っていて、また違った個性がある。中村さんと青木さんと僕と、三人三様のカラーが出せればと考えています。

インスタレーションの中で踊るということに対する難しさはありませんか？

最初は「作品を壊さないように、ドキドキしながら踊ることになるのでは…」と恐れていたんです。でも、佐藤さんが「何してもいいよわ」と言ってくれて。彼女にはどんなこともすんなりと受け入れてしまう包容力があり、たくさんの余白を与えてくれる。僕たちのダンスの可能性、表現する可能性をどんどん広げてくれるので、とてもやりやすいですね。

美術ギャラリーで踊るのは首藤さんにとって初めての経験とのこと。その辺りの心境はいかがですか？

大きな劇場にはない独特の空気と楽しめがありますね。ギャラリーの場合は特に観客との距離も近いし、いわゆる「舞台」としての段差もない。だからぎっと、観ている方も出演者の一部になったような気分になるのでは。僕たちダンサーだけでなく、ひとりひとりが出演しているような感覚になってもらえるのではないのでしょうか。

では、その時に来た観客によっても作品が変わってくる？

もちろんです。こういう密接した空間だからこそ、観客が作品に与える影響はものすごく大きいと思います。

ところで、首藤さんは過去に何度も神奈川県民ホールに出演されていますが、これまで神奈川県を訪れてきた中で、特に心に残っている思い出やお気に入りの場所はありますか？

バレエ団にいたころは毎年のように県民ホールで公演をやっていたので、本当に数えきれないくらい思い出があります。たいてい舞台が終わった後は、中華街に寄って帰るのが定番のコースでした。劇場自体もすぐそばに海があるし、とても綺麗で気持ちの良い場所ですね。それに何より、自分のスタジオがある辺りと雰囲気が似ているんです。作ることに集中できる場所というか…。今回は久しぶりにその中で踊れるというので、今から楽しみにしています。

最後に、読者にメッセージをお願いします。

この作品は僕自身にとっても全く新しい試みだし、佐藤恵子さんという素晴らしいアーティストの作品の中でダンスができるのは本当に素敵なこと。ぜひ足を運んでいただき、そして彼女のアートとともに、みなさんも一緒にダンスを感じてもらえれば嬉しいです。(取材・文: 小野寺悦子)

プロフィール

首藤康之(ダンサー) Yasuyuki SHUTO

9歳からバレエを始める。東京バレエ団に入団後、古典作品をはじめ、モーリス・ベジャール、ジョン・ノイマイヤー、イリ・キリアンなど世界の名だたる振付家の作品に数多く出演。2002年～03年にはマシュー・ボーンの「白鳥の湖」の「ザ・スワン」役で主演し、高く評価される。04年東京バレエ団を退団、特別団員に。以降、浅野忠信監督の映画「トリー」、ジョー・カルロコ演出「SHAKESPEARE'S R&J」に出演など表現の場を拡大。07年9月にはベルギー王立モネ劇場でシディ・ラルビ・シャルカウイ振付「アポクリフ」を世界初演。09年5月にはダブリン国際ダンスフェスティバルに参加するなど、国内外問わず活動の場を広げている。

公式ホームページ <http://www.sayatei.com/>

アート・コンプレックス 2009 首藤康之×中村恩恵「時の庭」(世界初演)

振付: 中村恩恵 美術: 佐藤恵子
出演(ダンス): 中村恩恵 首藤康之 青木尚哉
■ 公演日: 2010年1月7日(木)・8日(金)・9日(土)・10日(日)・11日(月・祝)
■ 時間: 各日19:30開演
■ 会場: 神奈川県民ホールギャラリー
■ 料金: 全席自由
一般 6,000円 学生(24歳以下) 3,000円
(発売日: 友の会 10/1 一般 10/3)
県民ホールチケットセンター 045-662-8866
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>
■ 主催: 神奈川県民ホール
(指定管理者: 助神奈川芸術文化財団)

<関連企画> 神奈川県民ホール開館35周年記念展「日常 場違い ~ Everyday life Another space」

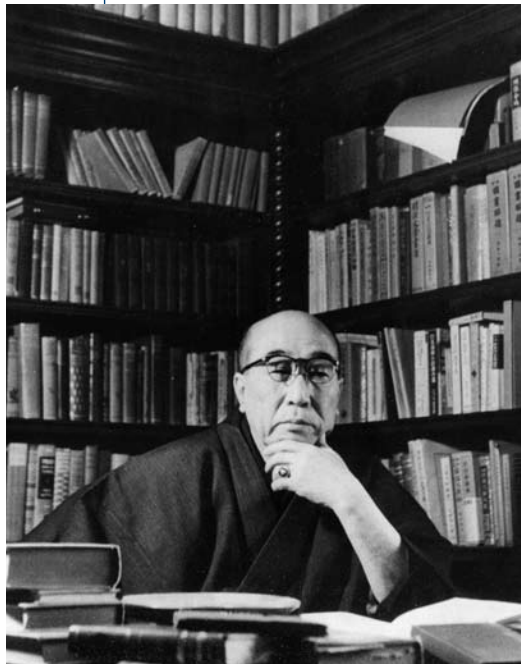
■ 会期: 2009年12月16日(水)～2010年1月23日(土) ※12/30～1/4休場
■ 会場: 神奈川県民ホールギャラリー
■ 開館時間: 10:00～18:00
※入場は開場の30分前まで
※最終日は16:00閉場(予定)
※12/18・25、1/15・22の金曜日は19:00まで(予定)
■ 入場料: 一般 700円
学生・65歳以上 600円 高校生以下無料
■ 神奈川県民ホール 045-662-5901(代)

子どものころ、江戸川乱歩の少年探偵団シリーズをワクワクしながら読んだ方は多いのではないのでしょうか。小林少年と少年探偵団、そして名探偵・明智小五郎が、神出鬼没の怪人二十面相に立ち向かう物語は、戦前・戦後と時代状況が変わっても、絶えず多くのファンを獲得しています。刊行から数十年たっても幅広い世代に読み継がれる乱歩作品の魅力とはいったい何なのでしょう。その秘密をこの秋、文学館で探ってみませんか。以下、展覧会の内容にそって、「大乱歩展」を御紹介します。

第1部 乱歩の軌跡

1 活字を愛する少年

江戸川乱歩（本名・平井太郎）は、1894年（明治27年）、三重県名張市に生まれました。幼少年時代から菊池幽芳、黒岩涙香らの探偵小説を愛読し、活字の生み出す世界に魅了され、自らも創作や同人誌の編集を早くから手がけます。本展の最初を飾るこのコーナーでは、乱歩が保存していた作家以前の時代の資料および自作の「貼雑年譜」を中心に、作家として立つまでの軌跡を紹介します。



江戸川乱歩 1957年 池袋の自宅土蔵の中で

2 うつし世はゆめ

乱歩は、1923年（大正12年）、雑誌「新青年」に短編「二銭銅貨」「一枚の切符」を発表してデビューします。事件に潜むトリックを解き明かす本格推理の世界を指向しますが、大衆娯楽雑誌に連載した怪奇・冒険活劇風の長編によって作家としての地位は不動のものとなりました。しかし戦時体制下の日本で遊興的文化が排除されるなか、乱歩作

品は事実上すべて発禁となります。ここでは黄金時代を迎えた乱歩が、戦時下で活躍の場を奪われ窮迫のうちに敗戦を迎えるまでをたどります。

3 幻影の城主

敗戦により日本はアメリカの占領下に置かれましたが、乱歩はこれを探偵・推理小説発展の好機ととらえ、積極的に欧米の作品を収集、紹介します。同時に探偵・推理小説の地位確立のため作家クラブ設立や乱歩賞制定など精力的に活動しました。病に冒されながらも後進のため道を開こうとする姿を紹介します。

第2部 怪人二十面相と少年探偵団

雑誌「少年倶楽部」ほかに連載された＜少年探偵団＞シリーズから乱歩ファンになった読者は数知れません。初出掲載時の原画や戦

後の雑誌付録など懐かしい品々を交え、現在も読み継がれる作品の魅力を紹介しします。

第3部 蔵の中へ 収集家・江戸川乱歩

転居を繰り返した乱歩が最後に30年余り暮らした池袋の旧宅は、現在、立教大学・江戸川乱歩記念大衆文化研究センターとなっています。「蔵の中で蠟燭の明かりで執筆する」という＜乱歩伝説＞の舞台となった土蔵には、自著を含む内外の探偵・推理小説はもとより、精神分析、犯罪、歴史、近世文学等々、膨大な文献が収蔵されています。ここでは乱歩の蔵書から、作家・乱歩の広大な知的背景をうかがうとともに、収集家としての側面を浮き彫りにしていきます。

大乱歩展

開館 25 周年記念展覧会

2009年10月3日(土)～11月15日(日)

●開館時間：9:30～17:00

(入館は16:30まで)

●料金：一般600円、

20歳以下及び学生300円、

高校生以下及び65歳以上無料

<関連行事>

会場：県立神奈川近代文学館ホール

■講演会「乱歩の二つの顔」

10月3日(土)14:00～

●講師：小林信彦(作家)

●料金：1,000円

■講演会「江戸川乱歩と少年探偵の夢」

10月24日(土)14:00～

●講師：紀田順一郎

(評論家、神奈川近代文学館館長)

●料金：1,000円

■朗読会「D坂の殺人事件」から

11月1日(日)14:00～

●出演：寺田農(俳優)

●料金：1,000円

県立神奈川近代文学館 企画展

「生誕130年 長谷川時雨展」

(同時開催)

文学の森へ 神奈川と作家たち展 第1部

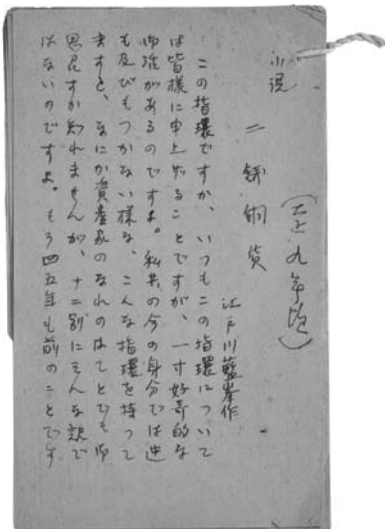
2009年11月21日(土)～

2010年1月11日(月・祝)

9:30～17:00(入館は16:30まで)

一般400円 20歳未満及び学生200円

高校生以下及び65歳以上無料



「小説二銭銅貨」1920年ころ。のちに雑誌「新青年」に掲載されデビュー作となる短編草稿のひとつ。江戸川藍峯の筆名を使っている。(立教大学図書館寄託)

神奈川近代文学館

■月曜休館(祝日は開館)(この他に年末年始、展示室は展示替期間、閲覧室は毎月末の平日と2月1日～10日)

■開館時間：展示室 9:30～17:00(入館16:30まで)

閲覧室 9:30～18:30(土日祝は17:00まで) 会議室 9:30～21:00

■〒231-0862 横浜市中区山手町110 電話 045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>

県内文化情報
のページ

神奈川県内・公立施設催し物情報（各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい）

※電話番号をお確かめの上、お間違えないようお願いいたします。

横浜市

■横浜美術館 045-221-0300

9月19日(土)～11月23日(月・祝)10:00～18:00
※金曜は20:00まで。入館は閉館の30分前まで
※木曜休館
横浜開港150周年記念・横浜美術館開館20周年記念
大・開港展 一徳川將軍家と幕末明治の美術一
一般1,000円 大・高校生700円 中学生400円

■大佛次郎記念館 045-622-5002

10月1日(木)～11月23日(月・祝)
10:00～17:00(入館は16:30まで)※10/26(月)休館
特集展示「大佛次郎と文明開化―木村荘八の眼―」
大人200円 小中学生100円※20名以上の団体料金あり
※毎月第2・4土曜日は高校生以下無料

■横浜市民ギャラリー 045-224-7920

10月9日(金)～10月28日(水)
10:00～18:00(入場は17:30まで)※会期中無休
ニューアート展2009
写真の現在・過去・未来 一昭和から今日まで一
500円 18歳未満無料

■横浜市民ギャラリーあざみ野 045-910-5656

10月23日(金)～11月8日(日)10:00～18:00
※10/26(月)休館
横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+企画展
「Photo Communication」
無料

■港南区民文化センター 045-848-0800
ホール

10月10日(土)14:00
アルゼンチンタンゴコンサート
全席指定 3,000円(当日3,500円)

■栄区民文化センターリリスホール 045-896-2000

10月25日(日)15:00
能登谷安紀子ヴァイオリンリサイタル
全席指定 一般1,800円 リリス券1,500円

■関内ホール小ホール 045-662-8411

11月8日(日)14:00
クラシックヨコハマ サロンコンサート・ブリッジ
@関内ホール第1回
全席自由 1,000円

■横浜みなとみらいホール 045-682-2000

11月30日(月)19:00
クラシック・ヨコハマ
第188回毎日ソリスト 菊地裕介ピアノ・リサイタル
全席自由 2,500円

■はまぎんホールヴィアマーレ 045-225-2173

10月11日(日)14:00
秋の文化講演会「六条の御息所」
(瀬戸内寂聴訳「源氏物語」から朗読)
出演:有馬稲子(女優) 全席自由 1,500円

■県立歴史博物館 045-201-0926

http://ch.kanagawa-museum.jp/
※共通 9:30～17:00開館 金曜日は特別展のみ
20:00まで(入館は閉館の30分前まで)
※月曜休館(祝日の場合開館)

10月17日(土)～11月29日(日)
特別展「鎌倉の日蓮聖人―中世人の信仰世界―」
一般800円 20歳未満・学生500円※20名以上の団体料金あり
高校生・65歳以上100円
※中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料

特別展「鎌倉の日蓮聖人―中世人の信仰世界―」記念講演会
①11月3日(火・祝)14:00～16:00「日蓮聖人」の美術
②11月23日(月・祝)14:00～16:00 日蓮の生涯と立正安国論
定員各回70名 無料 要当日特別展観覧券
事前申込制 ※申込はHPからのフォームメールか、

往復はがきにて①10/24(土)②11/13(金)必着

10月25日(日)10:30～14:00～
重要文化財旧横浜正金銀行本店本館建物公開
定員各回25名 無料 要当日常設展観覧券
事前申込制 ※申込はHPからのフォームメール
か、往復はがきにて10/15(木)必着

■県立金沢文庫 045-701-9069

9:00～16:30会期中の土・日・祝日は17:00まで
(入館は閉館時間30分前まで)


10月9日(金)～12月6日(日)
仙台市博物館・県立金沢文庫交流 特別展
「伊達政宗とみちのく文華」
20歳以上(除学生)500円 20歳未満・学生300円
65歳以上・高校生100円
※中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料


11月1日(日)13:30～15:00
月例講座「みちのくの仏教文化」
要当日観覧券 ※申込は往復はがきにて10/21(水)必着


11月22日(日)13:30～15:00
月例講座「戦国武将と能」
要当日観覧券 ※申込は往復はがきにて11/11(水)必着

川崎市

■ミュージアムシンフォニーホール 044-520-0200

10月12日(月・祝) 第1部10:30/第2部14:30
ミュージアム市民吹奏楽祭2009 
市内で活躍する吹奏楽団のコンサート
全席指定 1部・2部各700円(当日1,000円)

10月29日(木)ランチ12:10/ナイト19:00 
MUZAランチ&ナイトコンサート 第7回
チェコ・フィル ホルン奏者とピアノ&ソプラノトリオ
全席自由 ラunch 500円/ナイト1,000円

11月2日(月)19:00 
ホールアドバイザー秋山和慶&佐山雅弘 企画
オーケストラで楽しむ映画音楽
S6,000円 A5,000円 B4,000円 C3,000円

■川崎能楽堂 044-222-7995


10月12日(月・祝)14:00
川崎能楽堂 狂言全集第1回
全席指定 3,000円


■川崎市岡本太郎美術館 044-900-9898

10月10日(土)～2010年1月11日(月・祝)
9:30～17:00(入館は16:30まで)
「対照 佐内正史の写真」展
一般900円 65歳以上・高・大生700円
中学生以下無料 ※20名以上の団体料金あり


横須賀・三浦地区

■横須賀芸術劇場 046-823-9999

http://www.yokosuka-arts.or.jp
よこすか芸術劇場 
10月10日(土)15:00
東京バレエ団「ラ・バヤデー」(全3幕)
S9,000円 A7,000円 B5,000円 C3,000円
※学生半額

11月3日(火・祝)14:00 
ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団
指揮:リッカルド・シャイヤー
S12,000円 A10,000円 B8,000円 C6,000円
※学生半額

ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

11月8日(日)14:00 
マエストロと遊ぼう!
vol.1 リコーダーのおもしろスゴざ再発見

全席指定 大人1,200円 子ども(3歳～中学生)800円

■横須賀美術館 046-845-1211

※10/5(月)・11/2(月)・12/7(月)休館
開催中～10月18日(日)
10:00～19:00(土曜は20:00まで)10月は18:00まで
パウール・クレール 東洋への夢
一般900円 高・大生・65歳以上700円

10月31日(土)～12月27日(日)10:00～18:00
白髪一雄展 格闘から生まれた絵画
一般800円 高・大生・65歳以上600円

■鎌倉芸術館 0467-48-4500

大ホール
10月4日(日)15:00
村治佳織Classy Selection in 鎌倉芸術館
Vol.1<ヤン・コボウ×村治佳織>
S4,500円 A3,500円

10月25日(日)15:00
HAPA Japan Tour 2009 “HULA MAI”
S5,000円 A4,000円

11月26日(木)19:00
小林研一郎指揮 日本フィルハーモニー交響楽団
S7,000円 A6,000円 B4,000円

ギャラリー

10:00～18:00(最終日は17:00まで)
鎌倉市民文化祭 第61回鎌倉市展
写真展 10月2日(金)～10月6日(火)
書道展 10月9日(金)～10月13日(火)
入場無料 鎌倉市民文化祭企画運営委員会事務局
(鎌倉市文化推進課内)0467-23-3000

■県立近代美術館

※三館共通 9:30～17:00(入館は16:30まで)
※休館日 月曜(9/21、10/12、11/23は開館)
9/24、10/13、11/4、11/24 ※中学生以下と障害
者の方は無料 ※20名以上の団体料金あり

鎌倉 0467-22-5000

9月19日(土)～11月3日(火・祝)
麻生三郎とそのコレクション
一般700円 20歳未満・学生550円
高校生100円 65歳以上350円

鎌倉別館 0467-22-7718

9月19日(土)～12月20日(日)
北川原 コレクション展
一般250円 20歳未満・学生150円 高校生100円
65歳以上100円

葉山 046-875-2800

11月3日(火・祝)～12月20日(日)
『白樺』誕生100年 白樺派の愛した美術
一般1,000円 20歳未満・学生850円 高校生100円
65歳以上500円

■逗子文化プラザなぎさホール 046-870-6622

10月1日(木)14:00
プラザ名画座 サウンドオブミュージック
全席自由 500円(当日700円)

10月16日(金)19:00
ファミリー人形劇 はこ/BOXES
じいちゃんのオルゴール♪逗子公演
全席自由 大人2,000円 子ども(4歳～中学生)
1,500円(障害者の方は各500円引)(当日300円増)

10月18日(日)15:00
オーケストラ・リベラ・クラシカ逗子公演
S4,500円 A3,500円

■三浦市民ホール

①10月4日(日)13:00

第37回いなりっこ発表会

入場自由 無料
 ⑩10月18(日) 13:00～15:30
 チャッキラコ・ユネスコ無形文化遺産登録記念祝賀会
 入場無料 ※申し込みは往復はがきにて9/30(水)
 必着、応募多数の場合は抽選
 ⑪11月1日(日) 12:00～16:00
第31回筆と尺八の調べ
 全席自由 無料
 ①～③ともに、三浦市教育委員会生涯学習課
 046-882-1111(①②は内412、③は内411)

湘南地区

■平塚市民センターホール

①10月3日(土) 13:00
オペラ「森は生きている」
 全席自由 大人3,000円 子ども(中学生以下)2,000円

■平塚市中央公民館大ホール

②10月4日(日) 18:30
情熱のタンゴ
 全席指定 2,500円

■平塚市紅谷パールロード商店街

③10月11日(日) 13:00
**木谷實九段生誕100年記念
 第14回湘南ひらつか囲碁まつり 1000面打ち大会**
 多面打参加費1,000円 高校生以下無料

①～③ともに、(財)平塚市文化財団0463-32-2237


■湘南台文化センター 0466-28-1135

市民シアター
 10月3日(土) 15:00
**えまお(元・絵麻緒ゆう)一人芝居
 「シネマに×××(キスキスキ)」**
 全席指定 3,500円

11月7日(土) 15:00
長塚京三・益岡徹・鷺尾真知子「エンバース」
 全席指定 3,500円

11月21日(土) 16:00
藤沢能「清経」 狂言「佐渡狐」
 シテ：六郎改め梅若玄祥
 全席指定 一般3,800円 高校生以下1,500円

■茅ヶ崎市民文化会館 0467-85-1123

10月16日(金) 19:00 
アルゼンチンタンゴ名曲のタペ ～カンパタンゴ楽団～
 全席指定 4,000円

10月21日(水) 19:00
秋吉敏子 ソロピアノコンサート
 全席指定 5,500円(当日6,000円)

■茅ヶ崎美術会館 0467-88-1177

※休館日 月曜(9/21・10/12は開館)9/24・25・29・30、10/13・14、11/4
 開催中～11月8日(日)
 10:00～18:00(入館は17:30まで)
生誕90年 銅版画家・菅野陽 一創生の海一
 一般300円 大学生200円 高校生以下・市内65歳以上・
 障害者と介護者は無料 ※20名以上の団体料金あり

■秦野市文化会館大ホール 0463-81-1211

10月25日(日) 18:00
WAHAHA本舗結成25周年～新たなる旅立ちへ「無駄な力」
 S7,800円 A6,800円(当日500円増)

11月23日(月・祝) 15:00
フェスティバル・ストリングス・ルツェルン with 神尾真由子
 ～スイスの精鋭と神尾が紡ぐ「ヴィヴァルディの四季」～
 S4,500円 A3,500円 B2,500円

■大磯町郷土資料館 0463-61-4700

10月24日(土)～12月6日(日) 9:00～17:00
 (入館は16:30まで) ※記念展開催中は、月曜日の
 み休館 ※11/23開館、11/24休館
伊藤博文没後100年記念展 「滄浪閣の時代」
 入館無料

**■二宮町生涯学習センター 0463-72-6911
 ラディアンホール**

11月3日(火・祝) 14:00
**NHK交響楽団トップメンバーによる
 プラスアンサンブルコンサート**
 全席指定 大人3,500円 高校生以下2,000円 親子ペア5,000円

11月22日(日) 14:00
二宮演奏家協会創立10周年記念ガラコンサート
 全席自由 3,000円

県央地区

■厚木市文化会館小ホール

11月3日(火・祝) 14:00
**第2回あつぎ懐かしの名作映画会
 「巨匠 溝口監督の世界一雨月物語・近松物語一」**
 自由席 1作品につき500円
 ※事前申込制(10/5(月)必着)・抽選 ※申込方法要問合せ
 厚木市生涯学習課 046-225-2510

11月28日(土) 18:00・29日(日) 14:00
**厚木シアタープロジェクト第21回公演
 劇団扉座さつきマスの物語(仮)**
 全席指定 4,200円(当日4,500円) 学生席3,000円
 厚木市文化会館チケット予約センター 046-224-9999

■厚木市中心市街地

11月7日(土)・8日(日) 11:00～
にぎわい爆発あつぎ国際大道芸2009
 無料
 厚木市商業にぎわい課 046-225-2840

■大和市生涯学習センターホール

10月31日(土) 16:00
あさみ ちゆき アコースティックコンサート
 全席指定 3,000円(当日3,500円)
 財大和市スポーツ・よか・みどり財団 046-260-5305

■海老名市文化会館大ホール 046-232-3231

10月2日(金) 18:00
「THE よしもとライブ SHOW」
 全席指定 3,500円(当日4,000円)

11月29日(日) 17:30
「中村 中コンサート」
 全席指定 4,800円

■ハーモニーホール座間 046-255-1100

11月15日(日) 13:00/17:00
秦万里子コンサート ～半径5メートル物語～
 全席指定 3,000円

■綾瀬市文化会館 0467-77-1131


小ホール
 10月10日(土) 14:00
あやせ芸術さいえん ショスタコーヴィチの世界
 全席自由 500円


大ホール

10月18日(日) 14:00
0歳からのクラシックコンサート
初めを感じる楽器の響き
 全席指定 500円

県北地区

**■杜のホールはしもと ホール
 チケット Move (ムーヴ)042-742-9999**

10月18日(日) 13:00 
結城座 宮沢賢治の写し絵劇場「注文の多い料理店」
 全席指定 3,000円 子ども(3歳～小学生)1,500円

11月6日(金) 19:00 
**シリーズ“杜の響き”vol.17
 ルベン・シメオ トランペット・リサイタル**
 全席指定 3,500円 学生(25歳以下)1,500円
 (当日500円増)

■相模原市民ギャラリー 042-776-1262

※水曜休館
 10月9日(金)～10月26日(月) 10:00～19:00
フォトシティブさのみはら 2009

プロの部 / アマチュアの部受賞作写真展

無料 相模原市役所文化国際課 042-769-8202
 10月31日(土)～12月6日(日)
 10:00～19:00(入館18:30まで)
秋の特別展<無限の創造力～秋葉山まんが祭り>
 一般300円 65歳以上150円

■相模原市立あじさい会館

10月8日(木)～10月12日(月・祝) 10:00～18:00
 ※8日は13:00～
第60回相模原市民文化祭 文化祭受賞者展
 無料 相模原市役所文化国際課 042-769-8202

■県立藤野芸術の家 042-689-3030

開催中～12月27日(日)
 当日、9:00～12:00ならびに13:00～15:00
 の間で随時受付
工房・秋の期間限定メニュー
 ①ガラスフュージングでアクセサリー作り
 ②みつろうのロウソク作り
 ①800円～1,000円②1,000円

①10月24日(土)②10月25日(日) 9:30～15:00
**芸術鑑賞講座デジタルカメラとフィルムカメラ
 の実践講座**
 ①デジタルカメラで藤野の自然を撮る(撮影と撮
 影作品の講評)
 ②写真の原点(モノクロフィルムでの撮影から現
 像まで)
 ①②共に1,500円※要事前申込 ※申し込みは電話にて
 ①10/23(金)②10/24(土)までに9:00～21:00受付

11月7日(土) 14:00
**弦楽五重奏コンサート「ブラハから5人の演奏家
 が来日 モルダウ、新世界より第二楽章ほか」**
 全席自由 2,500円(当日2,800円)

西湘・足柄地区

■箱根関所 0460-83-6635

箱根関所まつり 10:00～15:30 無料
 10月3日(土)物産販売
 10月4日(日)甲冑隊行列・和太鼓演奏・物産販売等

■箱根町立郷土資料館

10月17日(土)～12月23日(水・祝)
 9:00～16:30(入館16:00まで)
**企画展「まつりの風景～箱根の年中行事・正月行
 事から春祭りまで～」**
 入館料 一般大人200円 65歳以上150円
 小・中学生100円(団体割引あり。土日祝日の個人
 小・中学生は無料)
 箱根町教育委員会生涯学習課0460-85-7601

■仙石原文化センター 0460-84-8387

11月28日(土)19:00・29日(日) 14:00
第26回「箱根の秋」音楽祭
 自由席 大人2,000円(当日3,000円)
 小中学生1,000円(当日2,000円)

■中川一政美術館 0465-68-1128

9月17日(木)～11月17日(火)
 9:30～16:30(入館は16:00まで)※第1・3水曜休館
中川一政・東洋の心 一政 東洋書画コレクション
 一休・八大山人他
 大人700円 高校生以下350円
 ※20名以上の団体料金あり

■町立湯河原美術館 0465-63-7788

10月1日(木)～12月23日(水・祝)
 9:00～16:30(入館は16:00まで)
 ※水曜休館(休日の場合は開館、翌日休館)
平松礼二館企画展 「日本の情景一雨・風・雪・月」
 大人600円 小中学生300円
 ※15名以上の団体料金あり
 ※「平松礼二館」「常設館」共通

■大井町立中央公民館 0465-83-5409

10月24日(土) 10:00～17:00
 10月25日(日) 9:00～16:00
第9回大井町文化祭
 無料

昨年、神奈川芸術文化財団が開催した人形劇俳優・平常さんの人形劇ワークショップと多彩な人形劇公演。

今年はそのワークショップと舞台公演を組み合わせた企画が、(財)地域創造の「公共ホール演劇ネットワーク事業」*として採択され、6月から来年1月まで全国10都市の巡回を始めています。本欄ではこの巡回事業のスタートとなった松本市でのワークショップの様子をレポートします。

*:(財)地域創造と複数の公共ホールとの連携のもと、質の高い演劇作品の上演と演劇の手法を使った地域交流プログラム(アウトリーチ)を実施するもの。

今年の公共ホール演劇ネットワーク事業に参加したホールのひとつ、まつもと市民芸術館。劇場がある長野県松本市で、6月に、小学校へのアウトリーチ活動を含めた地域交流プログラムが展開されました。

■大人向けの人形劇ワークショップ

平日の夜に、芸術館のスタジオで行われた大人向けワークショップは、人形劇を上演するうえでの重要なポイントを伝授するもの。主に「呼吸法」「腰使い」「目線」という人形浄瑠璃にも通じる基本的な演技術を、平さんが実演をしながら教えていきます。セリフを言う呼吸の仕方を変えただけで、その人形のキャラクターもガラリと変わる技術には、参加者たちも大きく頷きます。「驚きと感動でいっぱいでした!」「子どもたちに演じるからこそ、責任を持って演じてほしいという平さんの言葉にはドキッとさせられた」など、参加者の心にも深く届いたワークショップになりました。



一人ずつ人形を作り、みんなが参加できる台本を作って、最後に人形劇として上演するという内容。「3日間という長い時間があるからこそ、子どもたちとの交流が進み、驚くべき発想力が生まれます」と平さんは言います。「子どもはみんな天才。そのことを一人ひとりが日々感じてほしい。そのきっかけを作りたい」という平さんの願いは、3日目の体育館での上演に実現し、人形たちが世界を冒険する劇が3学年一緒の子どもたちによって生き生きと演じられました。

「子どもは感性豊かだけれど、今回のワークショップで、プロの俳優の平さんが普段以上の力を引き出してくれました。それに芸術館の存在は知っていたけれど、アウトリーチがあったことでさらに身近になりました」と、錦部小学校の校長先生は効果を説明します。(財)地域創造と芸術館

の事業なので、学校の費用負担がないことももちろんありがたいとのこと。

■アウトリーチの意義とは

芸術館の支配人・蔭山陽太さんにお話をうかがいました。「劇場に足を運んでくれるお客様も大切ですが、いろんな事情で見に来られない方もたくさんいます。そういう方々にも、病院や学校と同じように劇場が社会の役に立っていると知ってもらい、さらにそのことを実際に体験してもらう機会が必要だと考えています。そのためには我々はアウトリーチに積極的に取り組み、市民の中にどんどん出ていくことです。アウトリーチは街に劇場があるからこそできることで、また民間の劇場とは異なる公共劇場ならではの役割だと思います」

実際、今回の大人向けワークショップには、人形劇を通じて、認知症について患者や周囲の理解を深める活動をされている方の参加もありました。また、小学校での人形劇の上演には、親だけでなく地域の方々も体育館まで見に来て、子どもたちを応援していました。

平成 21 年度 公共ホール演劇ネットワーク事業 「人形劇俳優“たいらじょう”の世界」

公演日程

■てるてるジョウくんとおそぼう!

(0,1,2 歳のための人形劇場)
12月4日(金) 11:00/15:00
神奈川県民ホール 大会議室

■宮沢賢治原作

「よだかの★星」「セロ弾きのゴーシュ」
12月5日(土) 15:00
神奈川県民ホール 小ホール

*ワークショップは県内小学校などで行われます。

●お問い合わせ:

(財)神奈川芸術文化財団
電話 045-633-3766



■小学校へ出かけて行くアウトリーチ

アウトリーチ事業は松本市北部の市立錦部小学校の1~3年生を対象に実施されました。午前中の授業3日分をかけ、

開館55周年 県立音楽堂、秋のラインナップ自信を持ってお送りする、珠玉の2公演!

■井上道義の「上り坂コンサート Vol.9

今年で9回目、「上り坂=今が旬」のソリストを桜木町・紅葉坂の頂上、音楽堂に迎えるコンサート。今回は、16歳の天才ピアニスト徳永雄紀さんが出演いたします。

俺の目に狂いはない!! by井上道義

ソリストは、毎回マエストロ井上道義の責任選定!マエストロの選んだ若きソリストは、その後大ブレイクするのがお約束。第2回に出演した神尾真由子さんは、出演の5年後にチャイコフスキー国際コンクールで優勝、第5回に出演した田村響さんは、出演の2年後にロン=ティボー国際コンクールピアノ部門優勝、第7回に出演した三浦一馬さんは、出演の翌年国際ピアノコンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たしています。



Who is YUKI ?

マエストロと徳永さんの出会いは、第7回北陸新人登竜門コンサート。その後、昨年弾き振りを予定していたマエストロの指の具合が悪くなり、急きょ代役でベートーヴェンの「三重協奏曲」のピアノ・ソロを務めました。その大成功から、今回のコンサート出演となりました。マエストロから「コルトー級*の日本を代表する音楽家になる!」と太鼓判を押された、今年のソリスト徳永雄紀さんの演奏は!?!皆さまのその目・その耳でお確かめください。

*アルフレッド・コルトー:20世紀前半のフランスを代表する大ピアニスト・指揮者

10月17日(土)14:00開演

- 料金:全席指定 一般 4,000円 学生(24歳以下)3,500円
- 指揮:井上道義 ●ピアノ:徳永雄紀 ●管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団
- 曲目:ウエーバー/舞踏への勧誘-華麗なロンド変二長調
ショパン/ピアノ協奏曲第1番ホ短調(ピアノ:徳永雄紀)
ワーグナー/トリスタンとイゾルデより前奏曲、「愛の死」
ブラームス/ハイドンの主題による変奏曲

「上り坂」を彩ったソリストたち

- イングリット・フリッター(ピアノ) ●神尾真由子(ヴァイオリン)
- 菊池洋子(ピアノ) ●枝並千花、梁美沙、田代裕貴、内山優子、ダニエル・ギャリツキー(全員ヴァイオリン) ●田村響(ピアノ) ●小林沙羅(ソプラノ)、竹内俊介(テノール) ●菊本和昭(トランペット)、矢野沙織(アルトサクソ)、三浦一馬(バンドネオン)、石田泰尚(ヴァイオリン) ●郷古廉(ヴァイオリン)

■音楽堂で聴く「声明」

～西行マンダラ「深き山に澄みける月を・・・」

「声明」は、グレゴリオ聖歌とともに世界で最も古い宗教音楽とされ、複雑な現代人の心に深い安らぎと癒しをもたらすヒーリング音楽です。

「声明」ってどんなもの?

「声明」は、仏教儀式で僧侶が仏の教えを讃嘆する聖歌です。インドから6世紀に伝来し、奈良時代の東大寺大仏の開眼供養には、全国から1万人の僧侶が集まり、420人で声明を披露した記録があるそうです。なんとも荘厳な響きがあったことでしょう。



音楽堂で創作された「声明」～西行法師のころ～

今回、好評に応え再演する声明作品は、音楽堂が2007年に委嘱した武智由香氏の創作声明を組み込み構成したものです。「ねがはくは花のしたにて春死なん」と詠み、歌人として魅力を放つ西行ですが、吉野熊野で修行を経験した法師としての心のありようを浮き彫りにしていきます。

世界最高レベルの「声明」を最高の音響空間で聴く

普段は寺院の儀式で行なわれる「声明」。ホールで聴ける機会はめったにありません。天台と真言の声明の第一人者たち総勢30名が集まった、世界最高の「声明」に触れられる好機です。

「声明って、難しくない?」とお感じの方には、開演前にプレ・トークがありますので心配ありません。ぜひ音楽堂にお出かけください。

11月3日(火・祝)15:00開演(14:30～プレ・トーク)

- 料金:全席指定 一般 4,500円 学生(24歳以下) 4,000円
- 作曲:武智由香 ●構成・演出:田村博巳
- 出演:声明の会・千年の聲
(天台声明) 海老原廣伸+七聲会
(真言声明) 新井弘順+迦陵頻伽声明研究会
八木千咲(龍笛)、宮田まゆみ(笙)、石川高(笙)、下野戸亜弓(箏)、鈴木真為(箏)、草間路代(十七絃)、神田佳子、池上英樹(パーカッション)

チケット絶賛発売中!

主催:神奈川県立音楽堂 (指定管理者: 財団神奈川芸術文化財団)

チケットの
お求めは



インターネットチケットセンター(24時間受付)
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>



音楽堂チケットセンター 045-263-2255 (13:00～17:00月休)

県民ホールチケットセンター 045-662-8866 (10:00～18:00)

アクセスはホールニュースの地図を参照ください。取り扱いチケットの最新情報はホームページでご覧になれます。 <http://www.kanagawa-arts.or.jp>

協賛ご芳名
神奈川国際芸術フェスティバル

第16回神奈川国際芸術フェスティバル「明日への祝祭!」は、2009年4月19日より7月23日の間開催され、多くの皆様にご来場いただきました。ここに、今年度ご支援いただきました皆様のご芳名を掲載し、感謝申し上げます。 財団法人神奈川芸術文化財団

■協賛

株式会社浅岡装飾
学校法人岩崎学園
株式会社ウォール
株式会社NHKアート
NTT東日本神奈川支店
株式会社勝烈庵
財団法人神奈川県経営者福祉振興財団
神奈川県信用保証協会
神奈川県民共済生活協同組合
神奈川県生活衛生同業組合
株式会社神奈川孔文社
株式会社神奈川保健事業社
株式会社ホール・ソリューションズ株式会社
加藤工業株式会社
株式会社キョウエイ装備
株式会社ニール株式会社
株式会社ケイエスピー
ケレックスジャパン・スズケン株式会社
株式会社合同通信
生活協同組合コープかながわ

国際警備株式会社
相模鉄道株式会社
株式会社JM&カンパニー
鈴鹿まほろ株式会社
生活クラブ生活協同組合
株式会社清光社
設備メンテナンス株式会社
全労済神奈川県本部
大栄電子株式会社
タカナ乳業株式会社
月島機械株式会社
株式会社東神工芸株式会社
ナイス株式会社
株式会社日建設計神奈川支所
日本電気株式会社神奈川支店
株式会社野毛印刷社
パナソニック モバイルコミュニケー
ションズ株式会社

平安堂薬局
株式会社ホテル、ニューグランド
株式会社マインドウェア
丸茂電機株式会社
森平舞台機構株式会社
株式会社山武ビルシステムカンパニー横浜支店
ヤマハウジングシステム株式会社
株式会社有隣堂
株式会社豊商會
株式会社横浜アーチスト
横浜エレベータ株式会社
株式会社横浜銀行
横浜新都市センター株式会社
横浜トヨペット株式会社
横浜ビルシステム株式会社
横浜レストラン かをり
株式会社ワイアー・ソリューションズ
■協力
株式会社勝烈庵
神奈川トヨタ自動車株式会社
株式会社崎陽軒

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社
サッポロビール株式会社
株式会社ソフィアスタッフ
株式会社東芝首都圏南支社
ナイス株式会社
株式会社野毛印刷社
野村證券株式会社横浜支店
三菱地所株式会社
■かながわアーツ倶楽部法人会員
株式会社ウォール
株式会社神奈川新聞社
湘南信用金庫
株式会社鈴鹿蒲鉾本店
TK
東工株式会社
奈良建設株式会社
株式会社野毛印刷社
横浜信用金庫
横浜レストラン かをり

広告

(匿名:企業1、個人1) 2009年4月3日現在

第58回神奈川文化賞・スポーツ賞 贈呈式・祝賀音楽会

無料
2000名ご招待

- 日時：11月3日(火・祝)
贈呈式開式 13:00(開場 12:30)
祝賀音楽会開演14:30
- 会場：神奈川県民ホール大ホール
- 指揮：金 聖響(神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者)
- ソリスト：石田泰尚(ヴァイオリン)
柳瀬省太(ヴィオラ)
- 管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団
- プログラム：モーツァルト／ディベルティメント 二長調 K.136
モーツァルト／ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調 K.364



金 聖響

©Eisuke
Miyoshi

- 申込み：往復はがきに催し名、郵便番号、住所、氏名、電話番号及び人数(1枚で2名まで)を明記し、10月2日(金)までに下記「申込み先」まで(消印有効)
- ※申込み多数の場合は、抽選。
- ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- 申込み先・問い合わせ：〒231-8588
(所在地を記載しなくても届きます)
県民部文化課「贈呈式・音楽会」係
TEL045-210-3808
- 主催：神奈川県／神奈川新聞社
- 共催：神奈川県民ホール
【指定管理者：財神奈川芸術文化財団】

県内のアート情報はここで探そう!
かな@で県内のアート情報を検索できます。

<http://kanagawa-at.info>

Yokohama HOOD!! #9 ～ストリートミュージシャンフェス ティバル横浜～セミファイナル

テープ審査を通過したオリジナルで勝負部門、お気に入りのカバー部門、メンバー全員学生部門の各10組が、ファイナル進出を目指すライブコンテストです。

- 日時：10月31日(土)16:00
11月1日(日)14:00
- 会場：かながわアートホール
- 事業内容の詳細：http://www.arcship.jp/yh/
- 問い合わせ
NPO法人ARCSHIP TEL045-243-2247
又は県民部文化課文化事業班TEL045-210-3808

第45回神奈川県美術展 大賞受賞作品決定

1700余点の応募作品の中から審査の結果、次の4点が各部門の大賞に決定しました。
平面立体部門大賞：高橋善一「Hornet II」
工芸部門大賞：丸山愛「striplay」
書部門大賞：松永光鳳「三十六歌仙」
写真部門大賞：米山悦朗「記憶・パキスタン大地震(3枚組)」



高橋 善一「Hornet II」

【入選・入賞作品の展覧会】

- 1期展 平面立体
開催中～9月20日(日)
- 2期展 工芸・書・写真
9月23日(水・祝)～10月4日(日)
- 9:00～18:00(最終日は14:00まで)
- 会場：神奈川県民ホールギャラリー
- 入場無料
- 問い合わせ
神奈川県民ホール TEL045-662-5901(代)
- ※その他の入賞作品は「かな@」ホームページで紹介しています。

県立青少年センターホール

かながわ伝統芸能祭「人形浄瑠璃文楽」
10月19日(月) 昼の部14:00 夜の部18:00
【昼の部 おはなし(あらすじ)】
「卅三間堂棟由來」平太郎住家より木遣音頭の段
「本朝廿四孝」十種香の段・奥庭狐火の段
【夜の部 おはなし(あらすじ)】
「絵本太功記」夕顔棚の段・尼ヶ崎の段
「日高川入相花王」渡し場の段
A 3,000円 B 2,500円 C 1,500円 学生1,000円
県民ホールチケットセンター TEL045-662-8866
音楽堂チケットセンター TEL045-263-2255(月休)

かながわこども民俗芸能フェスティバル

～れとろびーと 2009～
11月29日(日) 13:00
入場無料 ※申込みは往復はがきにて11/8(日)必着
舞台企画課 TEL045-263-4475

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 公演情報

神奈川フィル・チケットサービス
(平日10:00～18:00)TEL045-226-5107
■横浜みなとみらいホール
第257回定期演奏会 指揮：湯浅卓雄
10月8日(木) 19:00
第258回定期演奏会
指揮：マルティン・トゥルノフスキー
11月14日(土) 14:00
共に、S 6,000円 A 4,500円 B 3,000円
学生(B)1,000円

神奈川芸術劇場の初代芸術監督 宮本亜門氏に決定!

県が平成23年(2011年)1月のオープンを目指して整備を進めている「神奈川芸術劇場」の初代芸術監督に宮本亜門氏が決定しました。
芸術監督には、芸術劇場の運営に当たって、長期的展望の下で芸術面の方向性を考えるとともに、年間の運営方針や個々の作品の企画・制作にも関わるなど、様々な形で活躍いただきます。
なお、芸術監督への就任は、平成22年(2010年)4月を予定しています。



●問い合わせ

県民部文化課神奈川芸術劇場整備担当
TEL045-210-3814

TOSHIBA
Leading Innovation >>>



あかりを変える。未来が変わる。LEDは東芝

4.1W 6.9W LED電球。エコポイント

【40W形^{※1}相当】 【60W形^{※2}相当】 【E26口金】

「エコポイント申請サポート店」でエコポイント対象製品を購入すると、エコポイントを電球形LEDランプの購入代金の一部に使用できます。

※1:当社ホワイトランプLW100V36Wとの比較。当社ダウンライト器具ID-76220(S)に装着した場合、ほぼ同等の器具光束を得られます。 ※2:当社ホワイトランプLW100V54W55との比較。当社ダウンライト器具ID-76101(W)に装着した場合、ほぼ同等の器具光束を得られます。

広告

神奈川県

県民部文化課 文化企画班 電話(045)210-3804(直通) FAX(045)210-8840
横浜市中区日本大通1 〒231-8588 電話(045)210-1111(代) 内線3804～3806 <http://www.pref.kanagawa.jp/>